



(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,200	講師報償費、講師費用弁償、会場借り上げ料他
合計	1,200	

**決定額の考え方**

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 主治医意見書を記載する医師が、主治医意見書の重要性を理解し記載内容の徹底を図ることで、主治医意見書の提出の遅れや書類の不備を是正し、適正な要介護認定審査の重要資料となるようにする。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

保険者の介護認定に必要な意見書を作成する医師を対象に継続的に実施する事業のため、数値目標になじまない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和2年12月27日開催 受講者 18人(岐阜県医師会館)。 令和3年2月1日～14日 受講者 135人(動画配信) 主治医意見書を記載する医師が、その重要性を理解し記載内容の徹底を図ることができ、適正な要介護認定審査に資することができた。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b>（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>要介護（支援）認定に係る審査判定の重要な資料である主治医意見書の記載方法等について研修を実施し適切な要介護認定の実施に資することができる。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b>（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>主治医意見書は、要介護認定の判定に活用されるものであり、審査会において適切な介護度を判断するための資料となっている。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b>（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>岐阜県医師会では、介護保険福祉医療等の専門医師による「医療介護福祉連携委員会」が組織化されており、介護保険の現場の実情に精通しているため、講師として適切な対応が行われている。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  主治医意見書の適切な記載と速やかな保険者への提出について、研修会等を通じてさらに周知する努力が必要である。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主治医意見書は介護認定審査の資料として必須であり、適切な意見書の作成の為に今後も継続すべき事業である。</li> <li>・ 受講者は医師であることから県医師会に委託することは適切と考え、今後も県医師会に委託し実施する予定。</li> <li>・ 適切な記載と速やかな提出について県医師会を通じて周知を図る。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	